

各業種の進捗状況の概要(2016年度実績)

		目標設定 について (継続論点)	昨年度の 取組実績について (継続論点)					低炭素社会実行計画の柱に沿った調査票の章立て (詳細内容はフォローアップ調査票を参照)				目標設定 について (継続論点)	
目標指標	基準年度 /BAU	2020年目標	2016年度実績 (注1) (注5)	進捗率 (注2)	想定比 (注3)	2017年度 の見通し (注1)	CO2排出量 2016年度実績 (万t-CO2)	2030年目標 策定状況		低炭素製 品・サービ ス等によ る他部門 での貢献 (注6)	海外での 削減貢献 (注7)	革新的技 術の開発・ 導入 (注8)	策定目標の 見直し (注4)
一般社団法人 日本新聞協会	エネルギー消費量	- (注9)	- (注9)	- (注9)	-	-	45.22万t-CO2	○	エネルギー消費原単位 年平均▲1% (基準年度:2013年度)	リストアップ	-	リストアップ	-
公益社団法人 全国産業廃棄物連合会	温室効果ガス排出量	2010年度	±0%	+11.5%	-11%	-	521.8万t-CO2	○	温室効果ガス排出量 2010年度比▲10%	リストアップ	-	-	-
一般社団法人 全国ペット協会	CO2排出量原単位	2012年度	±0%	▲18.3%	18%	-	0.520万t-CO2	○	CO2排出量原単位 2012年度比 ±0%	-	-	-	-

(注1)2016年度実績及び2017年度の見通しについて、基準年度比での削減目標を掲げた業種は基準年度比の削減率を、BAUからの削減目標を掲げた業種はBAUからの削減量をそれぞれ記載。

(注2)「進捗率」は、目標水準と比較した2016年度実績の比率。【進捗率=(基準年度の実績水準-当年度の実績水準)/(基準年度の実績水準-2020年度の目標水準)×100(%)】

ただし、全国ペット協会は、基準年度と目標年度の水準が同一のため、(2020年度の目標水準-今年度実績)/(2020年度の目標水準)として算出。

(注3)「想定比」は、2016年度について予め想定した水準と比較した実績値の比率。【想定比=(基準年度の実績水準-当年度の実績水準)/(基準年度の実績水準-当年度の想定した水準)×100(%)】

(注4)「策定目標の見直し」は、低炭素社会実行計画においてこれまで目標を変更した年度及びその水準。

(注5)2016年度実績の算定にあたり使用された係数は以下の通り。

日本新聞協会:電気事業低炭素社会協議会における2016年度調整後排出係数。

全国産業廃棄物連合会:事業領域に電力の使用に伴う排出量を含めていないため電力の排出係数は設定していない。その他燃料及び廃棄物の焼却に伴う排出係数は日本国温室効果ガスインベントリの排出係数。

全国ペット協会:電気事業連合会における2006年度の使用端CO2排出原単位(自主行動計画策定当初の係数を使用)。

(注6)低炭素製品・サービス等による他部門での貢献は、リストアップ(定量化含む)、-(検討中)と表記

(注7)海外での削減貢献は、リストアップ(定量化含む)、-(検討中)と表記

(注8)革新的技術の開発・導入は、リストアップ(定量化含む)、-(検討中)と表記

(注9)日本新聞協会は、2030年目標及び第3次自主行動計画の策定・実施に伴い、2020年度目標は取り下げしており、新たな2020年度目標は設定していない。